

学生ボランティアも、今は助教授。

小児保健セミナー - 聴講へ。受付である男性から「医学生時代、お世話になったものです。覚えていますか？」。私「ああ、顔に見覚えある。今どこに？」、彼「大学に戻りました」。私「たまには、顔を見せに来いよ」。他の方にも声をかけられるので、それ以上話せず。

セミナー - では、その彼が司会進行。「医局員は、雑用でたいへんだなあ」と思いながら聴講。

終わってから彼が近づいてきて謙虚に「お陰様で、名刺をもてるようになりました」。

差し出された名刺の肩書きは医学部の助教授。ほんの2, 3分話が弾みましたが、私にすれば、彼は学生のまま。

側で聞いていた知り合いの保健婦さんが後で曰わく、「阿部さんの前では、助教授も形なしね」。

貰った名刺にアドレス。帰宅後、早速セミナー - の感想を送信し、僕のメル友に加え、仕事柄、彼を大いに活用しようと企んでいます。

今頃、私に名刺を渡し、私のメル友と人脈に加えられたのを、彼は後悔かもね。

我がモットウ！「人は活かされてこそ、生きる！」。彼に幸あれ！

(2002年01月17日記)